

# 望月慎一郎 trio

望月慎一郎 piano

橋爪亮督 tenor & soprano sax

落合康介 contrabass

2019 10月13日(日)

開場 14:30

開演 15:00~

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3500 円 + 2drinks order

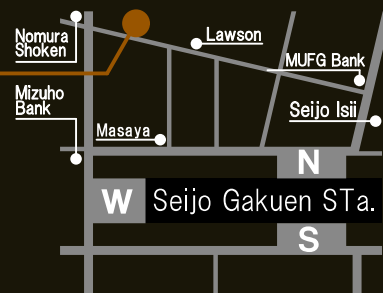
CAFE **BEULMANS**

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、  
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を  
ご記載ください。



## 橋爪亮督

1970年生まれ。岡山大学在学中20歳の時にポストン・パークリー音楽大学から奨学金を受け渡米。1996年同校Jazz作曲科卒業。同年初のリーダー作となる「And Then You Heard Tales (HAO Record 428)」をアメリカ国内でリリース。翌年2枚目のリーダー作「In A Stranger's Hand (HAO Record 429)」をリリース。1997年帰国。2006年 POLYSTAR JAZZ LIBRARYより国内初となるリーダー作「WORDLESS」(P.J.L. MTCJ-3031)をリリース。2008年 BounDEE JAZZ LIBRARYより国内2作目となる「AS WE BREATHE」(B.J.L. DDCJ-7004)をリリース。2009年 Grapes Record より国内初のライブ録音となる「Needful Things」(GPS-1206)をリリース。2012年 tactil esound records より「ACOUSTIC FLUID」(TS-001)リリース。2013年 Apollo Sounds よりグループとしては初のライブ盤「Visible/Invisible」(APLS-1304)をリリース。2014年続編となる「SIDE TWO」(APLS-1410)をリリース。現在は全曲オリジナルによる自身のグループを中心に新宿ピットインを始め首都圏ライブハウス等で活動中。2017年「incomplete voices」をリリース。



## 望月慎一郎

1980年、静岡県生まれ。幼少から音楽に触れ、6歳で曲を書きはじめた。13歳の頃には海外でも自作曲を披露し、既に作曲は日常のものとなっていくなかでジャズに出会い、以降は独学で研究を重ねている。尊敬する宇宙飛行士らの影響を受けてエンジニアへの憧れもあったため音楽大学ではなく工学部へ進学し周囲を驚愕させたが、在籍時は放射線管理区域で実験を繰り返す毎日を送りながらも音楽創作活動を継続しヤマハ講師グレードも取得、音楽研究を片時も忘れなかった。現在は長野県で半導体・電子部品等の開発技術者を生業としながら、欧州ジャズに近い演奏スタイルを取り入れ、独自の方法論を研究し自作曲の創作活動を精力的に続けている。2017年、ピアノトリオによる大作アルバム「Visionary」(SONG X 047)をリリース。2018年、橋爪亮督(sax)をフロントに向かえた「Another Vision」(SONG X 054)をリリース。



## 落合康介

神奈川県鎌倉市生まれ、千葉県袖ヶ浦市育ち。幼少よりピアノ、親戚のジャズピアニスト中山静雄の勧めでコントラバスをはじめ、ジャズ研で練習に励む。またネルグイ氏の馬頭琴の音色に衝撃をうけ馬頭琴をはじめ。自己のリーダーバンド林栄一asかみむら泰一ts古和靖明g石田衛pf本田珠也dsとの「ありがとうオーネットコールマン」また、物音を使ったジャムセッション「縄もんセッション」を主催。その他都内を中心に活動中。参加バンドは林栄一quartet、田中信正作戦失敗trio、市野元彦time flows quartet、酒井俊低音帯窮音、松井宏樹gradate、寺井雄一group、永武幹子trio、望月慎一郎trio、石川広行lossless、山口廣和voltex box、大村巨TBT、ませひろこquintet、森紀明Large Ensemble、橋爪亮督standard trio、藤原大輔quiet bird、Kevin McHugh nariiki bigband、m°Feなど参加CD、田中信正trio「作戦失敗」「キティ組曲」望月慎一郎trio「visionaly」「another vision」永武幹子trio「collection1」小島のり子「anytime」Kevin McHugh nariiki bigband「next」コントラバスを通じた表現を日々研鑽、都内を中心に活動中。